



組合員のみなさんこんにちは。秦野市のIです。朝晩の涼しさや、コオロギの鳴く声で秋を感じますね。秦野市内にある弘法山公園や渋沢丘陵などではヤマユリが咲いているようです。

夏休みに親子でフキボランティア

8月25日(木)おだわら市民交流センターUMECOにて、「絵本の翻訳シート貼り&活動紹介」を開催しました。

「絵本の翻訳シート貼り」は日本語の絵本にラオス語の翻訳シートを貼って現地に送る取り組みです。時間内に親子で1冊の絵本を仕上げることを目標に作業をスタートしましたが、中には3冊仕上げた方達も！「ラオス語のシートをはって見たら、ちがう本ようになってびっくりしました」「楽しくボランティア活動ができてよかった」など多くの感想をいただきました。組合員活動の紹介もし、身近な地域でさまざまな活動をしているということも知ってもらうことができました (I)



JAはだのと落花生収穫体験★

9月4日(日)に『落花生の収穫体験～秦野の農業を満喫しよう～』を開催しました。

JAはだの女性部の方が作った「ふしぎならっかせい」の紙芝居の後には、お待ちかねの落花生収穫体験！落花生の収穫はなんと参加者全員が初めてでした。家族ごとに落花生を土から引き抜き、さやをもちで、袋にいっぱい収穫しました！落花生の花が黄色いこと、落花生の実は土の中にできることも実際に見てよく分かりました。

(株)大地の生産者からは、津久井在来大豆の花の色は紫色、蕎麦の畑では蕎麦しか作らない(食物アレルギー考慮のため)などのお話を伺いました。



西湘・県西エリアで3年ぶりの開催！

9月23日(金・祝)に小田原市の梅の里センターで『エリア交流会』を実施しました。

今回は、「ジョイファーム小田原」の生産者の方から「みかん」についてのお話を伺い、梅ジャムゼリーと緑みかんシロップゼリーを作り、親交を深めました。



みかんのお話を聞き1番印象に残った事は、どうしてみかんは「段々畑」で育てられているのか、です。1本1本の木に日の光を当てるために、石を積んで段々にしています。そして、積み並んだ石段を自然災害や猪などに崩され、戻すことのできない生産者が増えてきている。というお話でした。直接何か手伝

う事は難しいですが、生産物を食べることで協力できたら良いなと思いました。

(O)



詳しくはブログを見てね↑



リユースびんは洗って乾かしてパルシステムへ。毎週回収しています！

リユースびん 8月回収率 77.6 %

リユースびんの他にも、米袋や商品カタログ、「お料理セット」のトレー、たまごパック、牛乳パック、ABパック、まとめ袋などを回収しています☆

紙面をご覧のみなさまへ

次年度の企画開催に向けてヒアリング中です。
選択式アンケートへのご協力をお願いします！

回答はこちらから→

